

令和7年度 第8回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

- 1 日 時 令和7年11月7日（金）13：30～15：00
- 2 場 所 大学本館1号館4階 1401会議室
- 3 出席者（12名）（敬称略、選出区分順）
学内：中山、齋藤、長田、矢寺、石丸、立石（和）、藤野、櫻本
学外：櫻井、安元、田中、早川
欠席者（4名）
学内：足立、石田尾、三輪、東
学外：なし

4 報告事項等

(1) 令和7年度 第6回迅速審査小委員会について

齋藤迅速審査小委員会委員長から、席上配付資料に基づき、迅速審査5件について委員の指摘事項等に関する研究責任者の対応及び修正内容を小委員会委員長が確認したので承認としたこと並びに迅速審査とした至急の変更申請1件について承認とした旨の報告があった。

○新規申請（迅速審査）

- ① 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 教授 中田 光紀
研究課題名： 労働者のストレスと心理社会的要因に関するインターネット調査
研究代表機関： 国際医療福祉大学大学院
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 医学部 公衆衛生学 教授 中田 光紀
研究課題名： 労働者の心身の健康およびその社会心理的要因に関するネット調査
研究代表機関： 国際医療福祉大学大学院
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業医科大学病院 嗅覚・味覚センター 部長 柴田 美雅
研究課題名： テーストディスク®に準じた院内調剤味覚検査試薬の清潔度の担保の検討
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 主任 西野 達士
研究課題名： 心臓血管外科手術における機械学習を用いた輸血量予測システムの構築
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰
研究課題名： 職場の心理社会的要因と労働者の心の健康：職位別の比較検討
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

○新規申請（迅速審査）

- ⑥ 研究責任者： 産業生態科学研究所 人間工学 教授 榎原 毅
研究課題名： 陸上貨物運送業を対象とした複合型腰痛予防介入アプローチの効果検証
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 迅速審査小委員会による審査の結果、「承認」とする。

5 審議事項等

- (1) 令和7年度 第7回 産業医科大学倫理委員会議事抄録（案）について
中山委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業保健学部 基礎看護学 准教授 岡田 なぎさ
研究課題名： 看護師が生き生き労働生活を送るための要因に関する検討（男性看護師および既婚看護師の配偶者も含めた検討）
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

- 倫理審査研究計画書 5. 研究対象者の選定方針 1) 募集方法、選択基準、除外基準、中止基準等

- ・募集方法について、「参加の同意が得られた参加者が…参加登録を行う。」とあるが、説明文書を配布してQRコードにアクセスして参加の同意を得ることが分かるように修正する。

- 参加される方への説明文書

- ・9)「本研究は、科学研究費（基盤C）の助成金及びにより、…」とあるが、承認番号を併せて記載する。

- アンケート調査フォーム

- ・誤字、脱字、重複があるため修正する。
- ・人によって異なる捉え方をされないよう、「子ども」の定義を明記する。
- ・夫婦で同じ職場で看護師として働いている場合にどちらが回答するのか、取り扱いについて検討する。

- ② 研究責任者： 産業医科大学病院 リハビリテーション部 技師 荒上 秀平
研究課題名： 「非接触型モーションキャプチャデバイスを用いた手指関節可動域測定の信頼性検証および上肢機能評価との関連性について」
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

- 倫理審査研究計画書 7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 研究対象者の自由な選択と同意撤回の保障

- ・「いつでも同意撤回できる」と記載されているが、個人情報等の対応表がないのにいつでも撤回が可能なのか。例えば「測定時点にのみ同意撤回できる」等の記載にする必要があるのではないか。

- ③ 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 庄司 卓郎
研究課題名： ナッジを活用した事業場における不安全行動の抑制に向けた取り組み
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

4. 実施計画

- ・本研究が観察研究なのか介入研究なのか、明確に記載する。

9. 研究対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

3) 研究対象者の予測されるリスク

- ・「リスク有」となっているが、参加者への説明文書にはリスクが記載されていないので統一する。

○参加される方への説明文書

5. 研究の方法について

- ・「2週間後をめぐりに、…設置します。」と記載されているが、研究対象者に行ってほしいことが記載されていないため記載する。

8. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できることについて

- ・「同意された後でも同意を撤回することができます」と記載されているが、無記名のアンケートであり、個人を特定できず同意撤回できないため修正する。

- ・本研究で「ナッジ」とされている内容がナッジといえるものなのか、再検討する。

④ 研究責任者： 医学部 産科婦人科学 助教 西村 和朗

研究課題名： 北九州市の若年女性における月経随伴症状と産婦人科受診行動の実態調査

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○倫理審査研究計画書

8. 個人情報等の取り扱い方法（研究対象者のプライバシー確保に関する対策）1) 個人情報等の加工

- ・「個人情報等の加工有、対応表なし」となっているが、個人情報を取得しないため修正する。

○アンケート調査フォーム

- ・文字フォントを整える。

(2) 継続審査

① 研究責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 助教 竹内 大樹

研究課題名： 市販カメラを用いた作業中の筋骨格障害リスクのリアルタイム「見える化」技術の開発

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○参加される方への説明文書

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法について

- ・6行目「また、同意を撤回された際は…廃棄いたします」と記載されているが、「あなたの意思を確認した上で廃棄します」というようなことを記載する。

17. 研究対象者等に経済的負担又は謝礼がある場合、その旨及びその内容について

- ・「研究参加を途中で中止された場合は、原則として謝礼の支給はありません。」と記

載されているが、例外で謝礼を支給する場合がないのであれば、「原則として」という文言を削除する。

(3) 新規申請（中央一括審査）

○本学代表機関

- ① 研究責任者： 産業保健学部 成人・老年看護学 教授 永松 有紀
研究課題名： がん患者の服薬アドヒアランスを支援する外来看護師の学習プログラムの開発
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、確認の上、委員長が提出されたものの内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

○研究実施計画書 4.研究方法 4-3-2.除外基準

- ・「4-3-1に記載した適格基準を1つでも満たさない者」とあるが、「4-3-1」の3に対しては表現が合わないため、修正する。

○参加される方への説明文書

5. 研究の方法について

- ・本研究は勤務時間内なのか勤務時間外なのかを記載した方がよい。

(4) 変更申請（個別審査）

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 放射線衛生管理学 教授 岡崎 龍史
研究課題名： 歯科診療所におけるX線検査時の職業被ばくに関する実態と改善策
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 研究責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名： タイ南東部における乳がん診断後の患者の離職意図とそれに関連する要因の検討：6ヵ月前向きコホート研究
研究代表機関： 産業医科大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明
研究課題名： 紙媒体チップを使った唾液検査によるストレス定量法確立の基礎実験
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 研究責任者： ストレス関連疾患予防センター 副センター長 和泉 弘人
研究課題名： 培養細胞を使った血清投与による遺伝子発現変動の解析と基準値の確立
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(5) 変更申請（中央一括審査）

○本学共同研究機関

- ① 研究責任者： 産業生態科学研究所 環境疫学 教授 藤野 善久
研究課題名： 職域における新型コロナウイルス感染に関する血清疫学研究
研究代表機関： 国立健康危機管理研究機構
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

- ② 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善に関する調査研究
研究代表機関： 北里大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 研究責任者： I R推進センター 准教授 井上 彰臣
研究課題名： 職業性ストレス簡易調査票の新しい基準値についての研究
研究代表機関： 北里大学
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

6 その他

- (1) 研究終了報告1件及び進捗状況報告16件について、別紙のとおり承認された。
- (2) 中山委員長から、倫理指針違反疑いの案件1件について、石丸委員を中心とする小委員会を立ち上げて検討することとした旨の報告があった。

研究終了報告

承認番号	研究責任者	所属	職名	課題名
IDR4-003	井上 彰臣	IR推進センター	准教授	職場の心理社会的な安全風土と労働者の健康に関する縦断研究

研究進捗状況報告

承認番号	研究責任者	所属	職名	課題名
H29-230	丸山 崇	第1生理学	准教授	「無線ネットワークによる患者見守りシステムの開発」における複数の移動体の遠隔監視実験
R4-058	辻 真弓	衛生学	教授	ヒト生体試料中マイクロプラスチック分析による取り込み評価と生体影響
ER23-044	樋上 光雄	作業環境計測制御学	教授	皮膚ガスを用いた有機溶剤ばく露量を把握するための方法の検討
ID24-011	黒坂 知絵	人間情報科学	講師	香りによる生体影響
ER23-041	山田 晋平	安全衛生マネジメント学	講師	視覚探索時間を用いた安全色の探索しやすさについての検討
R4-070	岡崎 龍史	放射線衛生管理学	教授	福島原発作業員の放射線不安軽減を目指した教育プログラムの教育効果
R3-063	永野 千景	産業保健管理学	講師	屋内事業場における熱中症予防対策のアンケートによる実態調査
ER24-047	大久保 直紀	環境疫学	助教	働く女性の健康(月経や更年期症状)に関する調査
R4-056	大神 明	作業関連疾患予防学	教授	紙媒体チップを使った唾液検査によるストレス定量法確立の基礎実験
ER24-045	永田 智久	産業保健経営学	准教授	日本の労働災害および業務上疾病の実態調査
IK24-008	永田 智久	産業保健経営学	准教授	中小企業の高年齢労働者が生き活きと働くために有効な支援とその需給ギャップに関する調査
H29-214	中村 英一郎	脊椎脊髄センター	部長	勤労者の健康診断データを用いた運動器疾患の横断的・縦断的な疫学調査 -ロコモティブシンドローム予防のための勤労者世代からの転倒リスク解析-
R3-058	佐伯 覚	リハビリテーション医学	教授	社会福祉施設の介護従事者に対するオンライン転倒・腰痛プログラムの有効性に関する研究
ER24-037	五十嵐 侑	産業医実務研修センター	講師	令和6年能登半島地震発生後の自治体職員の健康チェックの解析
R4-054	財津 将嘉	高年齢労働者 産業保健研究センター	教授	がん及び労働災害を含む周辺疾患の社会格差の解明
ID23-003	菅 礼子	エコチル調査 産業医科大学 サブユニットセンター	助教 (特任教員)	子どもの健康と環境に関する全国調査 -子宮内化学物質ばく露が子どもの発育・発達に与える影響に関する研究-